

令和 8 年度事業計画

日本の人口減少と高齢化の進行に伴い、「生涯現役社会」の実現に向けた高齢者の就労促進が進められており、シルバー人材センターの果たすべき役割は一層重要になっております。小山町シルバー人材センターでは、会員の長年にわたり培ってきた知識・経験・技術を活用し、就業を通じて地域社会へ貢献するとともに、その技能の後進への継承にも取り組んでおります。

一方でコロナ禍以降の定年延長等に伴う雇用環境の変化により、会員の平均年齢は上昇し、会員数も減少傾向にありました。しかし昨年度からの積極的な広報活動や働きかけにより、徐々に改善の兆しが見えてまいりました。

公益社団法人移行から 15 年目を迎える令和 8 年度は、「自主・自立・共働・共助」の理念を基本に、公共性の向上、事業の一層の拡大、及び会員増強に引き続き取り組んでまいります。

1. 事業の概要

- (1) 就業機会の確保・提供事業
- (2) 雇用の確保による就業機会の確保・提供事業
- (3) 研修・講習事業
- (4) 普及啓発事業
- (5) 安全適正就業推進事業
- (6) 調査研究事業
- (7) 社会奉仕活動

2. 事業計画書

(1) 就業機会の確保・提供事業

就業機会の拡大に向けて新規契約先の開拓及び既存取引先からの受注増加に努めます。特定職種における会員の高齢化や、受注業務と会員適正とのミスマッチが生じている状況を踏まえ、新たな会員確保の手段を検討し、さらなる会員増加を図ります。

(2) 雇用による就業機会の確保・提供事業

法令遵守による適正就業が求められる中、就業機会の確保に向けて派遣事業への移行を進めるとともに、新規派遣先の開拓を推進します。

(3) 研修・講習事業

昨年度は県シルバー人材センター連合会の支援により「植木剪定講習」を開催しました。今年度もスキルアップ及びデジタル化推進に資する講習を企画し、会員の技能向上と意識向上につなげます。

(4) 普及啓発事業

広報紙「シルバーおやま」や各種イベント出展を通じて、地域社会の理解と協力を促進し、センター事業の普及啓発活動を行います。

(5) 安全適正就業推進事業

「安全はすべてに優先する」を基本方針に掲げ、就業中及び就業途上での事故防止に取り組みます。安全パトロールの実施や安全講習会の開催を通じて安全就業への意識向上を図ります。

(6) 調査研究事業

事業推進のために、先進事例や優良センターの視察調査、各種情報収集を行うとともに、センターの実績集計、分析など必要な調査研究を行います。

(7) 社会奉仕活動

公益社団法人としての社会的責務を踏まえ、地域社会に理解されるよう、社会奉仕活動に積極的に参加します。夏の富士山一斉清掃への参加をはじめ、各地域の奉仕活動やシルバーDayへの会員以外の参加などを呼びかけます。